



図書室だより

＜開成町民センター図書室情報＞

電話 ▶ ☎20-4742
開室時間 ▶ 火～金曜日：9時30分～20時30分
土・日・祝日：9時30分～17時
休室日 ▶ 毎週月曜日
貸出冊数は一人6冊まで、貸出期限は2週間です。

図書室が発行している「新しく入った本のリスト」と「あじさいつうしん」はHPからもご覧いただけます。

毎月1日は町民読書デー、ファミリー読書デーです！



リサイクルブックフェアを開催します！（事前申込み不要）

保存期間が終わった雑誌と、古くなり利用されなくなった本などの有効活用を図るために、リサイクル（無料配布）します。

日時 令和7年2月8日（土） 9時30分～16時30分
2月9日（日） 9時30分～15時30分

場所 町民センター3階 大会議室



おすすめ本

りんごの棚と読書バリアフリー 1
自分にあった読み方ってなんだろ？



りんごプロジェクト監修
出版：フレーベル館

2019年に成立した「読書バリアフリー法」。
活字や紙の本がだれにとっても読みやすく、便利なものとは限りません。見えない、見えにくい人の読書や日本語が母語でない人の読書、文字だけにたよらない人の読書など、さまざまな読書があります。
文字の大きい大活字本、やさしい日本語と写真や図等を使ったLL（エルエル）ブック、手話や点字の本など、わかりやすく紹介しています。
▶P11 おしらせもチェック

新しく購入した図書

一般書



猫弁と奇跡の子

大山 淳子

マンダラチャート
ひまわり
ドヴォルザークに染まるころ
ゆびさきに魔法

垣谷 美雨
新川 帆立
町田 そのこ
三浦 しをん

児童書



おかしのまちのおかしなけっこんしき いわさき さとこ

ひみつのおすし屋さん
ピーチとチョコレート
なきむし
空はみんなのもの

黒岩 まゆ
福木 はる
みやにし たつや
ジャンニ・ロダーリ

サポセンNEWS

町民センター2階「開成町民活動サポートセンター」（通称、サポセン）に利用登録をしている団体の活動を紹介します。

問 地域防災課 ☎84-0326

おむすびころりん



活動内容：幼稚園や保育園、子育て支援センターなど、子どもたちの集まる場や、老人会や老人ホームなどのご高齢の方の集まる場に出向き、人形劇を中心に一緒に楽しい時間を過ごしています。

活動場所：福祉会館、上延沢自治会館

活動日：不定期

活動PR：人形劇を中心に、リズム遊び、手遊びなどを通して、子どもたちやご高齢の方と元気で笑顔があふれるひとときを一緒に過ごし、コミュニケーションの輪を広めたいと思っています。

サポセンからのお知らせ

サポセンに利用登録して地域活動に参加してみませんか。

登録をすることで、他団体との交流や会員募集の情報発信などメリットがたくさん！
※登録には条件があります。

サポセン利用登録はこちらから▶



問合せ：代表 小松 ☎090-6183-7688

子育てナビ

「スキンケアのすゝめ」 ～湿疹（アトピー性皮膚炎）の治し方～

湿疹を放っておくと様々な影響があります。
なるべく早く積極的に治療しましょう。

問 こども課 ☎84-0327

湿疹ができてしまったら…

湿疹ができてしまったら早めに医師に相談しましょう。かゆみと掻き壊しの悪循環で、あっという間に湿疹が悪化してしまいます。

医師に相談するときに役立ちます



メモしておこう

- ・いつから湿疹ができた？
- ・どの部位に湿疹ができた？
- ・生活環境で普段と違うことはあった？



写真を撮ろう

- ・湿疹がでている部分
- ・気になった皮膚の部分

アトピー性皮膚炎って？

アトピー性皮膚炎は乳児湿疹とも呼ばれます。症状の経過や治療の反応、家族の発症歴などをもとに診断しますが、初期症状では判断しにくいことがあります。診断がはっきりしない場合も、湿疹が重症化しないように早めに医師に相談し、治療を始めることが大切です。

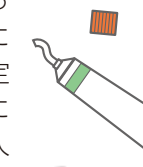


治し方のコツ

アトピー性皮膚炎の治療は、湿疹がない状態を長く保つことが大切です。
医師に「どの部位に」、「どのタイミングで」、「どれくらいの期間塗るのか」、具体的に指示してもらえると安心ですね！自己判断で使用を止めると悪化することもあるので、医師の指示を正しく守りましょう。

悪化を繰り返さないために

湿疹が見えなくても、皮膚の内部で炎症が残っていることがあります。症状が治まってもすぐに保湿剤だけにせず、ステロイド軟膏などを定期的に塗り、湿疹がない状態を長く保てるようにしましょう。定期的に塗る頻度や減らし方は個人差があるので、医師に相談しましょう。



早く治りますように。



元気だより

「個性が光るわくわくミュージアム」

問 開成幼稚園 ☎82-4247



▲ 海賊船でしゅっぱ〜つ！



▲ ジオラマも作りました！

12月の保護者面談の時期に合わせて「わくわくミュージアム」を開催しました。
この行事では、全園児が2学期の幼稚園生活の遊びの中で作り上げた作品を展示しました。子どもたち一人ひとりの個性やこだわりが詰まった作品を家族の方にも楽しんでもらおうと、教諭も作品の展示方法を工夫したり、制作風景を展示したりしていました。
保護者の方も作品を見ていただくことで、子どもたちの成長を感じ、「こういうものに興味があったんだ！」と新たな

一面を知る機会になっているようです。
わくわくミュージアムをきっかけに、保護者の方と担任が子どもたちの成長や興味を共有し、より一人ひとりに寄り添った関係を築いていけるのではないかと思います。
子どもたちには幼稚園生活の遊びの中で、ものを作る喜びや楽しさを感じ、これからもたくさんの作品を作ってもらいたいです。どんな作品ができるか大人の私たちも楽しみにしています。

「元気だより」では、町の園・学校の様子をお届けします。